

昭和49年度 和歌山県文化賞

きの した しげる
木 下 繁

住 所：東京都中野区

出 身 地：和歌山県

生 年：明治41年

◎業績及び経歴

大正15年県立耐久中学を卒業後、昭和3年建畠大夢氏に師事、同5年帝展初入選以来、帝展、文展、日展に連続入選された。

昭和8年東京美術学校彫塑科を卒業、昭和13年文展、昭和22年日展に特選受賞され、その後無鑑査出品者となり、たびたび特選受賞され、昭和28年には日展審査員となり、昭和32年日本現代美術展、同36年東京国際版画展に入選、同44年日展では文部大臣賞受賞の栄に輝いた。

昭和45年の現代美術選抜展、同48年グリーンプラザ彫刻展に招待出品された。

現在は、日展評議員、日本彫塑会理事、武蔵野美術大学彫刻専任教授で、和歌山にある作品には、耐久高校、県議会庁舎前庭の浜口梧陵翁の銅像をはじめ、文化会館前庭の小野真次翁の像や御坊市役所の裸婦像等がある。氏は一貫して裸婦像の研究に専念され、昭和48年第五回日展出品の裸婦像が芸術院賞候補に推され、昭和49年芸術院賞授賞の栄に浴された。